

日本の希少動物

第3回

シマフクロウ

組立説明書



ペーパークラフト「シマフクロウ」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「シマフクロウ」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・7ページ(各バージョン共通)

クラフト A4シート×4 パーツ総数18

これは「シマフクロウ」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折目をつけるためのもの) サインペン
ピンセット 接着剤 指先をきれいにするおしぼり
辞書など「おもし」になるもの(水平に圧着させるため)
など。

ご注意

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

このペーパークラフトは、右図の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。
極端に強くなぞると、紙に裂目ができてしまうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

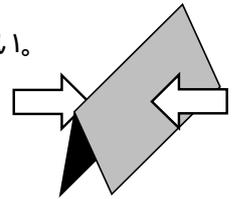
作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作方法の表記

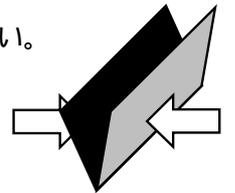
———— (実線)

この部分は**山折り**にしてください。



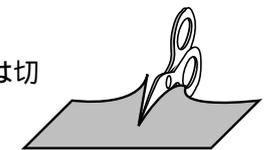
----- (破線)

この部分は**谷折り**にしてください。

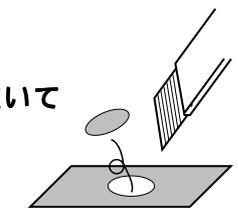


..... (一点鎖線)

このマークがついている部品には切込みを入れてください。



このマークがある部分は**切り抜いて**ください。



組立図と工作方法（2ページ）を参考に、各パーツを組み立ててください。

組立て時の注意表記



折る・丸める

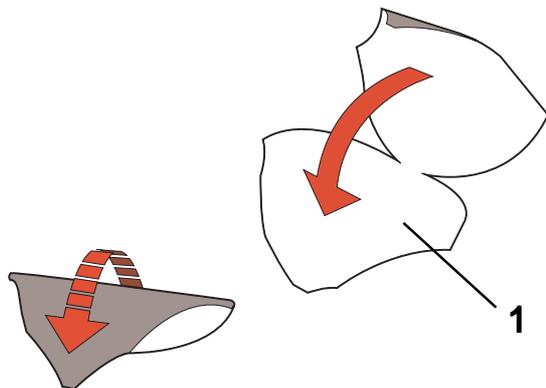


接着する

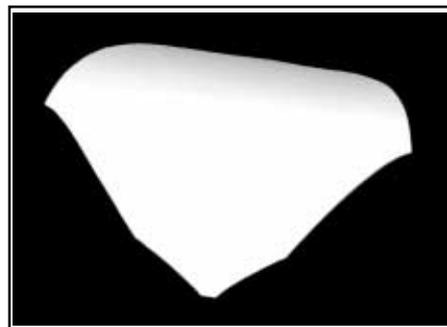
シマフクロウの組立て

3. 耳羽の組立て 工作方法の表記に従って各箇所を組み立ててください。

接着してから図のように丸みをつけてください。

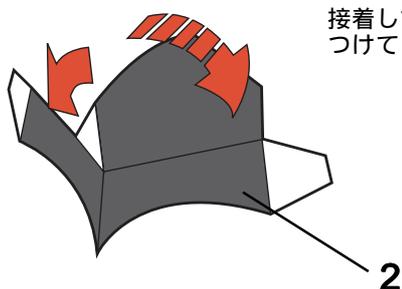


参考写真

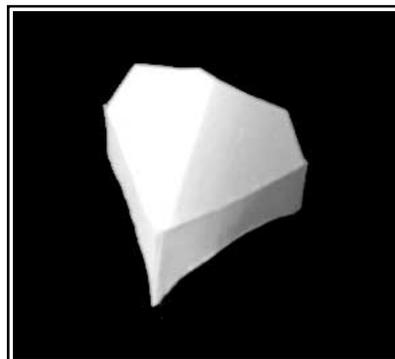


4. くちばしの組立て 工作方法の表記に従って各箇所を組み立ててください。

接着してから図のように丸みをつけてください。

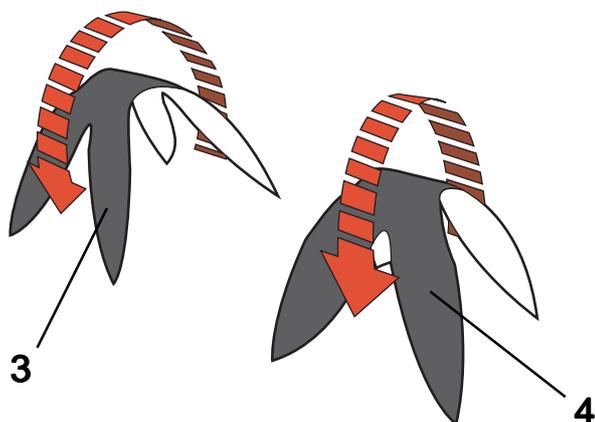


参考写真

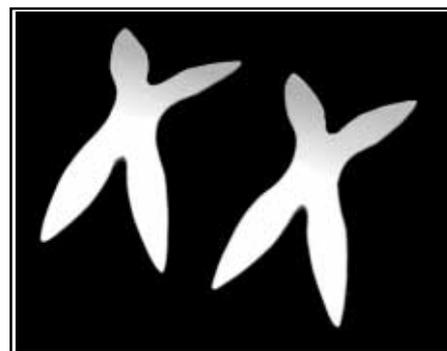


5. 爪の組立て 工作方法の表記に従って各箇所を折り曲げてください。

左右どちらも同じです



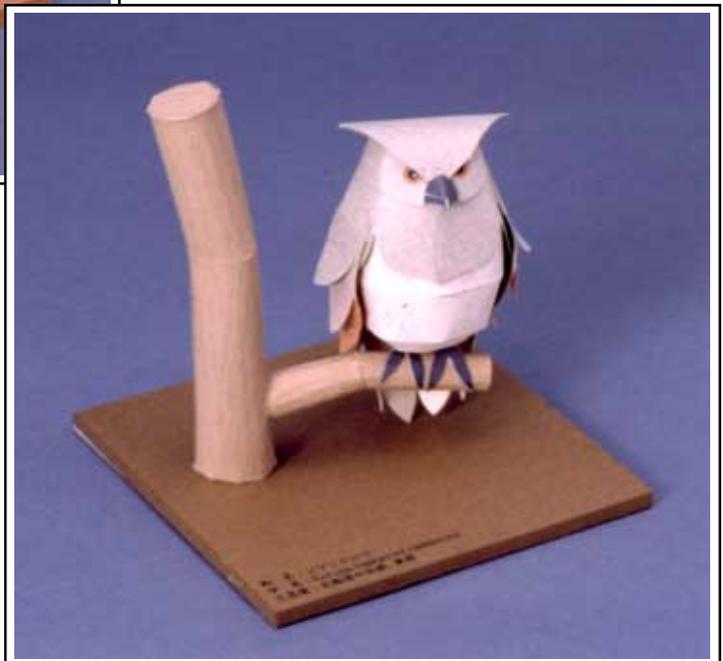
参考写真



完成写真です。組み立てや着色の参考にしてください。



カラータイプ



無着色タイプ
(紙の質感をより楽しめるタイプです)



希少動物「シマフクロウ」

シマフクロウはウオミズク属に属するフクロウで、全長が70cm、両翼を広げると180cmにもなる日本最大のフクロウです。北海道の中央部・東部に生息し、-30 以下になることもある厳しい環境で生活するため、体はたくさんの羽毛で覆われています。住みかとなる森林の伐採や、餌である魚が減少などから、現在では約100羽程のシマフクロウがかろうじて生息しており、絶滅の危機から救うために、森林に人工の樹洞や巣箱を設置したり、人工飼育・繁殖が試みられています。